

療育研修会実施状況

福岡県支部

参加数 53名

テーマ ◆「輝く」
講師 NPO法人代表 永野 寿代

◆「バリアフリーについて」
NPO法人事務局長 北山 信一

実施場所 ホテル レオパレス



実施を終えて（感想文等）

永野さん本人も障害者（神経原性筋萎縮症）でありながら、NPO法人「UDくまもと」の代表として、熊本県内各地の観光地を検分し、ガイドブック（UD観光ガイドブック）を作成する等、その精力的な行動と努力には敬服した。ガイドブックの内容は熊本県内の地図を挿入し、建物の前景と障害者用のトイレをカラー写真で示し車いすユーザーのコメントが記入され、患者、家族等にとっては心強い参考資料となると確信します。

障害者を取り巻く環境は前進しつつ在るものの、まだ十分とはいいがたい状況である。患者、家族等は益々結束力を発揮して事に当たることが重要であることを、再認識した。

療育研修会

◆ テーマ 「 輝く 」

講師 永野 寿代

NPO法人「UDくまもと」の代表として活躍中の、永野 寿代さんの講演を約1時間聞くことが出来ました。山あり谷ありの人生だったようですが、本人の努力は基より、友人、知人に励まされ、平成4年熊本の再春荘病院を退院され、その後民間の印刷会社に就職。平成7年には「障害者と共に働く提言体験手記」で、当時の労働大臣賞を受賞されました。また平成8年より長年に渡って取材収集した、バリアフリー施設並びにユニバーサルデザインに関する情報資料を基礎に、「それに関する調査、研究、助言、啓発に関する事業を行うことを目的」に、平成18年9月「NPO法人UDくまもと」が認証され代表に就任、今日まで精力的な活動を続けられています。

平成13年、熊本県ユニバーサルデザイン懇話会委員、熊本県観光審議委員、熊本県高度情報化推進懇話会委員等を歴任されています。また平成18年には熊本県観光物産総室の実行委員のメンバーとして「UDくまもとガイドブック」の作成に尽力されています。

障害者の立場で実際に経験した財産を、大勢に人前で発表する等、持ち前の明るさとバイタリティーで事に向かう姿勢は聴衆の共感を呼び、輝かしい人生を送っておられると感じました。最後に「私1人で事が成せるものではありません。多くの人々の協力が必要であります」これからも以前に増して頑張っていきたいと、申しておられました。

◆ バリアフリーについて

講師 北山 信一

NPO法人「UDくまもと」の事務局長の北山信一さんは以前勤務されていた福祉施設の経験を生かし、代表である永野寿代さんの片腕として活躍されています。

「くまもとUD観光ガイド」の作成時は熊本県内各地の観光地を実施検分し、その情報をもとに60ページにわたるガイドブックの作成に尽力されています。また福祉施設での経験を生かし、県等に対する助言、提言を積極的に行い、患者のQOLの向上に努められています。また障害者の方々からの要請によりバリアフリーに改装する場合、ハード、ソフト両面からの的確アドバイスを行い、住みやすい住環境の普及に努められています。

私たち患者を抱える親として見習う事が多々あり、非常に勉強になりました。